



## 祝 創立15周年! 15 記念式典



創立のメンバーの方々

12月6日、SON 東京は創立 15 周年を祝って、「記念式典 & 大運動会」を東京世田谷の駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場で開催しました。

午前 11 時過ぎ、厳肅な雰囲気の中、記念式典が始まりました。池田朝彦理事長の挨拶に続き、スペシャルオリンピックス日本会長の三井嬉子さんと東京都福祉保健局長の安藤立美さんからのお祝いの言葉、15年の歩みのスライド上映とインタビュー、SON 東京の活動にご協力いただいた企業・団体

への感謝状贈呈、創立時から 15 年間継続してご尽力いただいた方々への功労表彰と、式次は粛々と進行。アスリート、ボランティア、ファミリーが未来に向けた宣言を発表した後、東京中央ロータリークラブから記念品「AED」を



アスリート、ファミリー、ボランティア宣言



明日へのビジョン宣言

間の活動を見据えたビジョン宣言の発表で、記念式典を終了しました。

間、田中副理事長による今後 5 年間の活動を見据えたビジョン宣言の発表で、記念式典を終了しました。

## 15 大運動会

午後は、みんなで楽しもうと企画された大運動会。約400人のアスリート、ファミリー、ボランティアが、地域別の東(赤)・西(青)・南(白)・北(緑)の4チームに分かれて、地域対抗で競いました。

各チームは元気よく入場。15周年を記念して考案された準備体操で体をほぐしてから、応援合戦がスタートしました。応援合戦も得点に入るとあって、会場は早くも熱い雰囲気に!

競技種目は、背負いかご玉入れ、綱引き、○×クイズ、大玉送り、ガチンコリレーです。実力は伯仲、勝利したチームは拍手・大歓声にわき、各チーム一丸となって盛り上がりました。フィナーレには、ダンスチームのリードの下、全員で踊り、最後に成績発表。優勝の緑チームには記念の豪華マフラータオルが贈られました。

この日のイベントには、協賛企業などから約100人の運営ボランティアにご協力をいただきました。またご協賛、ご後援をいただきました企業・団体に厚く御礼申し上げます。



フロアーいっぱいに準備体操



赤組の応援



青組の応援



綱引き



閉会式



大玉おくり



ガチンコリレー

私たちSON東京はこの15年間を礎に、アスリートの自立と社会参加という目標に向かって、アスリート・ファミリー・ボランティアが力を合わせ、明日からまた1歩ずつ着実に活動を続けていきたいと思ひます。

**15**

創立15周年記念イベント 10/25 「第7回ウォーク&ランフェスティバル」開催



タイムトライアル5kmスタート



タイムトライアル5kmゴール



タイムトライアル10km1位の皆さん



ドリームサポーター萩原美樹子さんが応援



みんなで準備体操



がんばります!



宣言タイムレース、スタート



道案内、ありがとう!



ペアで頑張っています



たすきをつないで



仲良くゴール!



閉会式みんなで、フォークダンス



優勝おめでとう!



2位



同じく 2位

10月25日、創立15周年記念「第7回ウォーク&ラン フェスティバル」が開催され、参加企業・団体ランナー、アスリート&ファミリー、ボランティア、総勢約600名が参加しました。

心配された雨も上がり、宣言タイムレースに先だって行われたタイムトライアル(5kmと10km)レースでは、アスリート12名を含む過去最多の53名のランナーが皇居を1周・2周して速さを競いました。5kmのアスリート男子は山内隆介さん、一般男子は菅原康人さん、女子は柿原祐子さん、10kmのアスリート男子は齊藤新樹さん、一般男子は津田雄二郎さん、一般女子は臼澤佳奈子さんが優勝しました。

引き続き、神田一橋中学校で表彰式と宣言

タイムレースの開会式を行い、宣言タイムレースに参加する27の企業・団体からの69チームとアスリートをマッチング。15周年を記念して、広報委員の土路敦子さんが考案した準備体操の後、スタート地点の竹橋に移動しました。

今年の宣言タイムレースは、竹橋(1区)→千鳥が淵(2区)→桜田門(3区)→竹橋に戻り、最終4区はアスリートとのペアで、千鳥が淵のゴールを目指しました。こちらは、事前の申告タイムと実走時間の誤差の少なさを競います。すべてのランナーがゴールするまで温かい声援が続き、設営から交通整理までを支えてくれた多数のボランティアのお陰で、無事にレースを終了することができました。

神田一橋中学に戻って行われた閉会式は、

ダンスプログラムのアスリートたちのリードで盛り上がった後、表彰式に移り、誤差わずか2秒で、「シーエーセールススタッフ/チームスクエアフィールド」が優勝。2位は誤差6秒で2チーム、「東京海上日動キャリアサービス/TCS大手町本社組②」と「ワークスアプリケーションズ/ワークス うっかりはちべえ」でした。

終日応援してくださったドリームサポーターの萩原美樹子さんをはじめ、ご支援・ご協力いただいた多くの企業・団体、個人ボランティアの方々、ありがとうございました。このイベントの収益は、SON東京の日常プログラムの運営費、および来年開催されるSO日本・夏季ナショナルゲーム大阪への選手団派遣費用として、大切に活用させていただきます。

**15**

創立15周年記念イベント

10/16

チャリティーコンサート



10月16日、津田ホールにおいてスペシャルオリンピックス支援のための「潮田益子・佐々木京子ジョイント・リサイタル」が開かれました。

合唱プログラムのボランティア有志が中心となって企画されるチャリティー・コンサートも3回目となりました。今回は国際的ヴァイオリニストの潮田益子さんと若手実力派ピアニストの佐々木京子さんにより、モーツァルトやフランクの「ヴァイオリンとピアノのための

ソナタ」等の名曲が演奏されました。

ヴァイオリンの名器<ストラディヴァリウス>とピアノの二重奏は満席の聴衆を温かな響きで包みこみ、豊かな余韻ののこる素晴らしい演奏会となりました。この演奏会の収益金のすべてが SON 東京に寄付されます。音楽の感動がスポーツプログラム・文化プログラムのアスリートひとりひとりの活動につながっていきます。潮田さん、佐々木さん、感動をありがとうございました。(実行委員長 阿部祐子)

さる10月10日(土)、東五反田にある品川区総合体育館にて「スペシャルオリンピックス体験プログラム in 品川ふくしまつり」が開催されました。これは、品川区議・西本貴子さんのご提案に、SON 東京地域展開委員会が応えて実現した企画。「品川ふくしまつり」をきっかけに、品川区にも SO 活動を広めていくこう、という狙いからです。当日は、地域型スポーツクラブ「タイタンズ」の協

~SO体験プログラム in 品川ふくしまつり~  
品川区との連携が始まりました!

力も得て、SOのアスリートと品川区在住のアスリート候補者4名が、バスケットボールの体験プログラムを楽しみました。品川区内に会場ができ、プログラムが開催される日もそう遠くないかもしれませんね。



15

創立15周年記念イベント

9/20~22

「バスケットボール競技会」



バスケットボール競技会 全員集合! 国立オリンピック記念青少年総合センター

岩手、宮城、栃木、埼玉、千葉、神奈川、長野、愛知、京都、奈良からのアスリートを迎え、選手団 330 名、スタッフ、応援ファミリー等を加えると連日 500 名の人たちが参加した創立 15 周年記念「バスケットボール競技会」は、SON 東京が新型インフルエンザの影響を受けながらも、盛大に行われました。実行委員長を務めた藤田政弘さんの報告です。

大会 1 週間前に合同練習をした SON 東京 6 チームのコーチ 2 名が、新型インフルエンザに罹患。主催および実行委員会は、厚生労働省の指針に基づき、この練習に参加したコーチ、アスリート全員(60 名)を、「1 週間の健康監視」としました。

その結果、SON 東京 6 チームは大会初日の出場を自粛、大会 2 日目からの出場とし、実行委員会は大会期間中の新型インフルエンザ対策に万全を期しました。幸い新たな感染者が出ることもなく、3 日間の大会を無事に開催できたことで、参加を楽しみにしていた各地区選手団の皆様の期待に応えられた

と思います。

競技面では、デイビジョニング戦を欠場した SON 東京 6 チームの本戦出場を認めましたが、これは、SO 競技規則「デイビジョニングの重要性」を曲げるもので、新型インフルエンザという特殊事情があったとはいえ、苦渋の決断でした。その結果、組分けや成績面で、不利益を与えたチームがあったとしたら、誠に申し訳なく思っています。

総体的には、前大会(2005 年)に比べて、実力が飛躍的に向上したチームが目につき、参加地区の底辺の拡大と実力アップが如実に証明された大会でもありました。

一方、女子は参加チームが SON 東京の 2 チームにとどまり、残念でした。

うれしかったのは、おそらく対外試合

を経験したことのないアスリートたちのチームが大熱戦を展開し、応援するファミリーの熱狂がコートに響き渡った光景です。見ている人たち全員に感動を与え、SO の「大会開催の意義」を痛感しました。閉会式が終わり、帰路につくアスリートやコーチから、「楽しかった」「参加してよかった」「ありがとう」「また、皆を連れてきます」という言葉を聞き、蓄積した心労がどこかへ消えて行く気がしました。今大会が無事に終了できたことは、かかわってくださった全員の努力の賜物だと思います。ありがとうございました。



## WORKING ATHLETES

### ～働くアスリートたち～

#### 第 7 回 柳下沙也香さん(27 歳)

都営地下鉄「曙橋」駅近くに、おしゃれなビルがあります。今年 10 月、エステール(株)とあずみ(株)が合併して誕生した「As-me エステール(あずみえすてーる)株式会社」の本社です。宝石・貴金属の製造加工から販売までを行い、ジュエリーの売り上げは業界 No.1。全国に 394 の店舗があります。

#### ◆細かい作業は得意です

柳下さんは 2005 年 1 月 1 日に入社して、商品の値札を子袋に入れる「札入れ」や、宝石にプライスカースをつける「プライスつけ」を担当しています。「手先は器用です。細かい作業を飽きずに一日続けることができますね」と生産部の番場景子さん。番場さんは、柳下さんの仲間 13 人(知的発達障害者 12 人、聴覚障害者 1 人)の「お母さん」。「それぞれに仕事の向き不向きがありますが、仕事が少しでもできるようにになったら、ほめています」

社員は 2500 人近く。本社には約 200 人が働いています。知的発達障害者の雇用は、



札入れの仕事

いる人もいます。休まない、遅刻をしない。忍耐強く、まじめにコツコツと、ほんとによく仕事をしてくれています。仲間いいですね」

#### ◆スポーツは大好き。新しい仕事もしてみたい

3 階のワンフロアのほぼ真ん中が、柳下さんたちの職場です。その仕事ぶりは、障害があるとは思えません。入社後、柳下さんはピンクのルビーのネックレスを買い、お母さんにも指輪をプレゼントしました。たくさんの、すてきな指輪やネックレスが札付けを待っています。

「仕事は得意です。会社にくるのは楽しいです」

お昼はファーストフード店などでの外食が楽しみ!「2009 SO 冬季世界大会アイダホ」

にはアルペンスキー日本代表で出場、銅メダルを取りました。「楽しかったです。今度は銀か金を取りたいです。ボウリング、水泳、ゴルフも大好きです」

世界大会出場が決まると、会社は気持ちよく休暇を認めてくれました。「応援していますから。柳下さんの分は 12 人ががんばってくれました。仕事が 1 日楽しくできればいいですね。創業者の会長と社長の理解がありますので、障害のある人たちの雇用はこれからも前向きに考えています」

柳下さんがやってみたい仕事は、パソコンで商品のバーコードを読み取ること。「自信あります。働き続けていきたいです」

お二人をはじめ、周囲の温かなまなざし。「仲間たち」の職場の居心地はよさそうでした。柳下さん、仕事にスポーツにがんばってくださいね。

(ボウリング、アルペンスキー、水泳に参加)



小林さん、柳下さん、馬場さん(左から)

トライアングル  
・ストーリー

vol.15

「水泳プログラム」



菅 真一さん

「楽しかったナショナルゲーム参加」

アスリート:菅 真一

ぼくは、仲間と会って、一緒に泳ぐのが楽しみです。何年か前の熊本大会に参加しました。皆と一緒に過ごし、楽しかったです。また表彰台に登れたことは、最高の思い出です。

ファミリー:菅 睦子

この間学校を卒業したかと思ったら、もう4年が過ぎています。スペシャルのプログラムに参加させていただき、いろいろな交流ができ、忙しい日々でもあります。親子ともにさまざまな「学び」があり、刺激大です! 真一のダウン症という障害に、水泳は全身の筋肉が鍛えられるので、一生のスポーツとして取り組みたいと思っています。

ナショナルゲーム熊本(2006年)では、実家が熊本ですので、おじいちゃんおばあちゃんは初めて、大会で泳ぐ真一の姿を見ることができ、「真一がっしつか、泳ぎよかったですよ! おばあちゃんはうれしか!」と、元気に

頑張っている姿にボロボロ涙を流して喜んでくれました。1歳4カ月の姪の夕夏ちゃんに、「シンちゃん、シンちゃん」と声をかけられ、うれしさ満面の真一。夕夏ちゃんがもう少し大きくなったら、泳ぎを教えてあげ、一緒に泳ぎたいと思ったりしています。そして、スペシャルの支援のできる孫にと期待しています!

日々のプログラムでは毎回プールサイドで携わらせていただき、「共に学び」「共に楽しむ」「共に成長」をモットーに、これからも元気で、充実の日々でありたいと願っています。

「江戸川会場のプログラム」

主任コーチ:吉田 健司

こんにちは! 水泳プログラム・江戸川会場は、「水泳プログラムを江戸川区周辺で」というファミリーの皆様の要望をいただき、池袋・水泳コーチの方に開設依頼されて、現在千葉県在住ですが生まれてから20年間葛飾区で育ち高校は江戸川区で元地元ということでお受けしました。ファミリーの皆様のお力添えをいただきプログラムは立ち上がり、5年が過ぎようとしています。

登録アスリートも開設当時の2倍の30人、コーチも3人から8人となり、コーチの経歴も大会に参加している選手、競技役員、水泳インストラクターと、水泳に関してはプロフェッショナルの方々です。

当初2コース占有ではじまり、泳ぎもほとんどクロールのみで、泳げるアスリートでも50mくらいでしたが、現在は<1コース>初級:だいたい25mまで泳げることを目標(クロール・背泳ぎ)、<2コース>中級:だいたい50mまで泳げることを目標(クロール・背泳ぎ・平泳ぎ)、<3コース>上級:50m以上(4種目・飛び込み)とクラス分けを行い、4種目泳げることを目標としています。私は上級コースを担当していますが、ほとんどのアスリートが100mは泳げるまでに成長しました。また、個人メドレーを泳げるアスリートもいます。

私は障害があり障害者水泳の大会に出ています。大会で得たことやコーチから教わり得たことをアスリートの指導に生かしています。アスリートが持っているスキルをすべて生かせることがコーチの役割であると思いますが、コーチのスキル不足でアスリートの成長を止めてしまうことや限界を決めてしまうことのないよう、他のコーチにお願いしています。水泳に興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。



吉田コーチ

創立15周年記念写真集ができました

15年間、「SON東京の活動を支えてくれてありがとう! 明日からまたさらに!」との思いをこめて、広報委員会では記念写真集を作成しました。この写真集には、ファミリーボランティアを含めて、たくさんのボランティアが登場しています。ご協力いただきましたみなさまに、この場を借りて改めてお礼申し上げます。12月6日の記念イベントに参加された方には直接お渡ししましたが、当日欠席でご希望の方は、事務局までご連絡ください。

<今後の予定>

創立15周年記念 「第2回冬季地区大会」

2010年2月27日(土)~28日(日) アルペンスキー(尾瀬・岩鞍スキー場)  
2010年3月13日(土) フィギュアスケート、スピードスケート  
(江戸川区スポーツランド)、  
フロアホッケー(江戸川区立総合体育館)

定期総会

2010年3月6日(土) 東京YMCA東陽町センター視聴覚教室(予定)

<事務局の冬季休業>

2009年12月30日(水)~2010年1月4日(月)

SON東京オフィシャルスポンサー



UBS

UBSグループ

HSBC



HSBCグループ

法人・団体・個人会員募集中

SON東京の活動は、法人・団体および個人の会費・寄付、ならびにチャリティ事業などによってまかなわれています。何卒多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。

- 正会員 入会金 5,000円・年会費 5,000円
- 賛助会員 (一口) 年3,000円~  
(旧準会員)

郵便振込口座: 00140-1-723232

※法人団体会員については、事務局までお問い合わせ下さい。

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.49  
発行所: 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会  
編集元: 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京  
編集人: 池田 朝彦  
編集スタッフ: SON東京広報委員会  
定価: 100円(代金は会費に含まれています)

Update

登録アスリート数: 1,171名

正会員数: 1,052名  
(2009年11月30日現在)



認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京  
〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20  
東京YMCA東陽町センター内  
TEL: 03-3615-5569  
FAX: 03-3615-5581  
E-mail: office@son-tokyo.or.jp  
http://www.son-tokyo.or.jp